

2024年1月14日(日) 阿弥陀岳北稜

メンバー：L谷内、野中、村中、岩田(記録)

冬季初アルパイン。これまでに訓練してきたロープワークや、アイゼン登攀の実力を発揮する時が来た。いざ阿弥陀岳北稜へ・・・

昨日の降雪と寒冷前線の通過で、家を出るときからマイナス10度。さむい。集合場所から1台のジムニーに乗り込み、赤岳山荘まで林道を車で行く。今年は雪が少なくて林道歩きが減らせて助かる・・・

美濃戸から南沢を行者小屋まで。その間、昨夜までの雪が20cm程度積もっている。(写真1)この分だと北稜の岩稜への取り付きまでの積雪量が恐ろしいなあ。行者小屋でアイゼン、ハーネス、ヘルメットを装備し、気合を入れる。岩稜の取り付きまでの登りはとても急だったが、積雪量はあまり多くなく助かった。(写真2,3)

岩稜帯到着。急な岩場には雪がほとんどない。(写真4,5)4人を2組に分け、それぞれリード、セカンドで登る。1ピッチ目、まずはビレイを何とかこなす。後続のパーティが来るがあせらずビレイに徹する。笛の合図でついに登攀開始。開始点からの登りが困難で手と足を置くホールドを必死に探し、ちょっと無理して登る。初めの数mを登ると後は歩きやすい。少しトラバースで落ちたら危ないがロープで確保してもらっていることもあり、落ち着いて歩く。草付きの急斜面ではバイルを雪面に打ち込み安全を確保しつつ登る。中間支点のヌンチャクの回収忘れが無いように注意して(以前忘れたことあり)無事1ピッチ目を登り切る。

2ピッチ目、あまり困難な登りはなかったが、最後、ややナイフリッジ状の雪面をクリアし終了点へ。ロープを束ね雪の斜面から山頂を目指す。山頂は何度も来たいつもの山頂と同じはずだが、ちょっと困難なところから来たからかちょっと違って見える。山頂で記念撮影。(写真6)

下りは中岳のコルを目指して一般ルートで降りる。リーダーいわく、「このルートの核心部は中岳のコルへの下りだから気をつける。」確かに、新雪の急峻な下りは雪が固まっておらず、ずり落ちやすい。慎重にピッケルを刺し、手すり、木の枝をつかんで下る。しかし、あっという間に中岳のコル。そのまま中岳沢を一気に下る。(写真7)行者小屋手前で登攀装備(ハーネス、アイゼン、ヘルメット)を解除し、行者小屋経由南沢を下る。長い林道歩きがないかと思うと非常にありがたい。速足で赤岳山荘の車まで歩き山行終了。お疲れさまでした。

写真1 行者小屋手前の積雪



写真2 岩稜取り付きまでの登り



写真3 岩稜帯までもう少し



写真4 ビレイ



写真5 登攀開始



写真7 下山は中岳沢から



写真6 阿弥陀岳山頂にて

